

## 交換留学（派遣）帰国報告書

.....  
留学先大学： パリ・ディドロ大学（パリ第7大学）

留学先での所属学部・研究科： 社会科学領域

留学先での在籍身分： 留学生

留学期間： 2014 年 9 月～ 2015 年 8 月

神戸大学での所属学部・研究科： 国際文化学部

学年（出発時）： 3年

本報告書記入日： 2015 年 08 月 11 日

### 1. 留学先大学について

#### 1-1. 留学先大学の「学期」について

学年開始月日： 9 月 1 日

学年終了月日： 6 月 31 日

学期：

① 9 月 1 日～ 1 月 31 日

② 2 月 1 日～ 6 月 31 日

③ \_\_\_ 月 \_\_\_ 日～ \_\_\_ 月 \_\_\_ 日

④ \_\_\_ 月 \_\_\_ 日～ \_\_\_ 月 \_\_\_ 日

#### 1-2. 留学先大学の特長、人気のある分野等

社会学、科学史の分野でフランスでも有数の大学。自然科学系も含め、幅広い総合大学である。加えて、BNF（フランス国立図書館）のそばという立地も良い。また、東洋言語文明学部があることもその特長といえる。そのおかげで、アジアに興味を持っている学生も多い。

#### 1-3. 留学先大学のサポートについて記入してください。

語学面でのサポート：

学年度開始前のフランス語集中講義があった。（しかし、来年度から有料になる）しかし、フランスの大学一般に言えることだと思うが、オリエンテーションなどでも、フランス語のみで行われることが多いことも注意が必要。

勉学面でのサポート：

特になし。留学生は学部の枠を超えて自由に授業を選ぶことができる。

精神面でのサポート：

特になし。ただ、日本語学科の先生が相談に乗ってくれる。

住居・生活面でのサポート：

学生個人が住居を探すことを前提にしているが、大学からの斡旋制度はある。ただ、パリは慢性的に学生の数に対して住居が足りないので、学期が始まっても住居のない学生もいた。

課外活動のサポート：

上記の面も含め、一応チューター制度があるが、チューターの学生の熱意によって、大きく変わり、あまり期待できない。

1-4. 神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか。



はい



いいえ

## 2. 住居

2-1. 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。（気をつけること等）

パリは物価がものすごく高いので、寮に入れるか入れないかで大きく生活費が変わってくる。しかし、こればかりは向こうの大学が決めるものなので、もし入れなかった場合のことも十分に考えておいた方がよい。

## 3. 生活について

3-1. 保険について

どのような種類の保険に加入したかを教えてください。

神戸大学が斡旋していた留学保険。

また、現地で加入した保険があれば、ご記入ください。

フランスでの大学登録に必須のLMDEというフランスの社会保険。

3-2. PC（パソコン）について

PCの保有の状況：■日本から持参した □現地で購入した □保有しなかった

住居内のインターネットへの接続の可否：■接続できた □接続できなかった

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

寮にインターネットは付属していたが、有線LANのみであった。途中でWi-Fiルーターを2000円程度で買った。

大学でのPCの使用の可否：■使用できた □使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や日本語環境等について記入してください。

図書館や近くの東洋言語学院（Inalco）の図書館でPCや印刷ができたが、階や場所によってPCのスペックが違った。日本語の入力は、パリ7の東洋言語学科図書館で可能。

3-3. 医療について

留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。

通っていません。

健康管理あるいは衛生面について特に注意すべきこと。

乾燥についてはかなりひどい。

## 3-4. 銀行口座について

留学先でお金を引き出せるように、どのように準備・手続きしましたか。

日本で、海外でも引き出せるキャッシュカードを作ったのに加え、現地で口座を開設した。現地の銀行口座に送金してもらうことで生活していた。

## 3-5. 異文化体験について

留学先の文化・社会（習慣の違い等）について記入してください。

全く違うので、一言では言えません。一年を通して様々な経験をする事ができました。

大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトをもちましたか。

数多く。

課外活動（ボランティア、インターンシップ、アルバイト等）をしましたか。

留学期間の最後に、南仏で福島の子供たちの保養ツアーの通訳としてボランティアをしていました。

留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。（安全性、外国人への態度等）

パリは超有名都市なので、あえていうことはありませんが、ヨーロッパでも有数の危険都市です。

## 3-6. 留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、教えてください。

いいえ。

## 4. 経費について

## 4-1. 奨学金を受給していた場合、奨学金についてご記入ください。

（財団等名） JASSO \_\_\_\_\_, 100.000 \_\_\_\_\_ 円/月

## 5. アドバイス及び感想

## 5-1. 現地で参考となった留学先国の情報（出版物、ホームページ）を記入してください。

フランス留学をしている／していた人のブログは役立ちましたが、やはり長期留学や留学経験者に意見を仰ぐのが一番だと思います。

## 5-2. 日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。

少しの日本土産や簡単に作れる日本食セット（レトルトなど）。掃除用品やお皿などは日本で買っていく方が経済的。

## 5-3. 留学することによって得られたことについて記入してください。（語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等）

※ 語学力については、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。

留学前：( ) 点→帰国後( ) 点

語学はDELFIというフランス国民教育省によるフランス語試験でB1レベルからB2レベルに向上しました。（点数ではなく、欧州共通基準によるレベルによって指標が定まります）また、現地学生の様々な生き方を見る中で、日本の画一性がはっきりと見え、自分の将来をしっかりと見つめることになりました。

5-4. 振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。

これといって大きなトラブルはなかったです。しいて言えば、留学冒頭の手続きの煩雑さでしょうか。

5-5. 留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。

留学担当の方が3回も変わり、少し混乱しました。

5-6. 本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。

薦めます。交換留学は大学生活においてとても印象深く貴重な経験になりました。楽しいことばかりではありませんが、ぜひチャレンジしてほしいと思います。

5-7. 留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。

（5段階評価，5が最も高い評価，1が最も低い評価）

- ・留学先大学の授業の「質」（内容，レベル等）に満足しましたか： 5
- ・留学先大学の学生サービスに満足しましたか： 3
- ・留学先の住み心地（安全性等）に満足しましたか： 5
- ・住居の「質」（広さ，料金等）に満足しましたか： 3
- ・全体として留学に係る費用は安かったと思い，満足しましたか： 3
- ・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか： 3
- ・留学全体の総合的な評価： 5

### 授業について

留学中に履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習, 復習, テスト等についてアドバイスも含めて教えてください。
1	Société japonaise contemporaine 2	P. JOBIN	2h	6	20	いわゆるゼミ形式の授業で、授業中何度も発言を求められます。毎週予習、感想文があります。
2	Migrations et Relations Interethniques	M. Cognet / M. Timéra	3h / 4h	3	30	二人の先生が交代で授業をされ、先生によって授業時間が変わります。
3	Anthropologie sociale et culturelle	C. Girola	2h	3	30	学期中に課題図書が出されて、それについてレポートを提出します。
4	Histoire de la Sociologie	C. Haghghat	3h	6	20	ゼミ (1.5h) と大講義 (1.5h) のセットです。
5	Sciece en contexte - Asie	F. Bretelle-Establet	3h	6	10	修士課程の授業です。レベルも高くついていくのは本当に難しかったです。
6	フランス語 (文法)	Anne Le corre	2h	3	20	前期。一学期に二回試験があり、一回目は任意、二回目は必須です。
7	フランス語 (文法)	Anne Le corre	2h	3	20	後期分です、前期の続きです。
8	フランス語 (L'actualité)	Anne Le corre	2h	3	15	レベル4 (B2)・5 (C1)のミックスで、毎週フランスの様々な新聞について学びます。
9						
10						

授業（カリキュラム等）のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

先生によって、授業時間、開始・終了時間、試験方法など全く違うので一概には言えません。しかしながら、留学生に対して配慮してくれる先生もいます（私の場合は結果的にすべて現地学生と同じ課題をこなすことになりました）。現地学生は、授業料も安いので、バイトはバカンス中に集中して行い、学期中が勉学に集中します。同時に二つの学部に登録している人もいます。

### 費用について

留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

- ・航空運賃： 17万円
  - ・住居費： (月額) 4.5万円 × (留学月数) 11 ヶ月 = 49.5万円
  - ・食費： (月額) 4万円 × (留学月数) 11 ヶ月 = 44万円
  - ・保険料： 11万円
  - ・その他：
- 合計： 121.5万円 (留学期間全体の費用)

## その他 自由に記入してください。（800字～）

留学を終え、日本に帰国し一息ついた今、振り返ってみると一年間というのは本当に早かったです。確かにフランスでの一年間は大変なことも多かったです、人にも恵まれ、素晴らしい一年を過ごすことができました。

やはり、第二外国語として学んだフランス語で留学と言うのは、英語圏やその他の大学への留学とはまた違った難しさがあると思います。日本で学んできたフランス語で会話できる喜びの一方で、寮の手続きや授業になるとさっぱりわからない悔しさはとても大きなものでした。しかしながら、だんだんと生活のリズムを得、友達の輪が広がっていく中で、だんだんと、もっと伝えられる、もっとわかる、という成長を感じられたのが、この一年間を前向きに過ごすことができた最大の秘訣だと思います。

ヨーロッパという地域的な特性上、フランスやフランスの大学（特にパリ）には様々な人が集まります。ヨーロッパ、アジア、中東、アフリカなど様々なオリジンを持つ人々の中には、もちろん日本人を含めて、音楽や演劇のような芸術を志している人、フランスの大学で修士や博士課程に登録している人、フランスで働いている人などがいます。このような人達との関わりの中で、たくさんの刺激を受け、頑張ることができました。そして、自分の将来についても考えるきっかけを与えてくれたと思います。

また、簡単に国境を越えることができるヨーロッパでは、見えない国境をまたぐと、全く違う文化の世界が現れます。もちろん、フランス・パリで長期滞在することによって見えてきた、旅行ではみえない良いところ、悪いところを踏まえた上で、隣国のドイツやイギリス、あるいは東欧のポーランド、海を挟んだ元植民地国のモロッコを訪れるとその文化的な多様さに驚かされました。その中で、フランスの文化にも理解を深めつつ、翻って日本の文化や社会習慣についても改めて、すこし離れた視点から見つめ直すこともできたと思います。

この留学は、ひとえに一年間支え続けてくれたすべてのみなさんのおかげであることを改めて理解し、この経験が将来につながるよう努力していきたいと思います。